

## 第74回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選会要項

- 1 日 時 令和8年2月23日（月・祝）  
受 付 午前8時30分～9時00分  
竹刀計量 8時30分～9時15分  
抽 選 9時15分～  
開 会 9時30分

- 2 場 所  
城南総合スポーツセンター  
熊本市南区城南町舞原144-1 電話096-288-7885

- 3 主 催  
一般財団法人熊本県剣道連盟

### 4 出場選手資格および予選区分

#### (1) 資 格

- ア 令和7・8年度の熊本県剣道連盟の年会費を納入し、登録会員であること。  
全日本剣道連盟会員規則に適合している者。  
イ 職業資格・高校生および大学生の基準日は、大会当日（4月29日）とする。  
ウ 本県チームは次の男子7人によって編成する。  
エ 監督は、社会体育指導員（初級・中級・上級）いずれかの有資格者とし、選手が監督を兼任することも可とする。（資格基準は大会当日）

#### (2) 区分

- 先鋒：高校生  
高体連で選考し推薦する。  
次鋒：大学生  
①申込み時に高校3年生であっても大会当日（4月29日）大学1年生であれば出場できる。  
②高等専門学校生は4年生～5年生が出場できる。  
五将：年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く。  
18歳以上35歳未満の非常勤講師・大学研究生・大学院生・専門学校生は含まれる。  
中堅：教職員の者、年齢に制限なし。  
学校事務職員・教育委員会職員は含まれる。  
三将：警察職員の者、年齢に制限なし。  
副将：35歳以上の者、警察職員・教職員を除く。  
大将：50歳以上、剣道教士七段以上の者  
※ 年齢基準は、大会前日（4月28日）とする。

### 5 予選方法

- 予選は、出場選手6人以上はトーナメントとし、5人以下の場合はリーグ戦とする。  
各区分の優勝者を代表選手とし、2位の者を補員とする。  
※組合せは当日抽選をする。

## 6 試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則および大会要項による。
- (2) トーナメント、リーグ戦とも試合は3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本を取った者を勝ちとする。

なお、延長戦に入ってから試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。

リーグ戦の順位決定については、次のとおりとする。

- ① 勝ち数の多い者
- ② 総本数の多い者
- ③ ①～②が同数の場合は、取られた本数の少ない者
- ④ ①～③が全て同数の場合は、決定戦を行う

決定戦は1本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行う。

なお、延長戦に入ってから試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。

## 7 剣道用具の取り扱いについて

本予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 選手は、予選会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。（12安全管理参照）
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。計量・検査を必ず受けること。（検査本数は、3本までとする）
  - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
  - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
  - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
  - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
  - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
  - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

	長 さ (全 長)	重 さ	太 さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
一般・大学生	120 センチメートル以下	510 グラム以上	26 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上
高 校 生	117 センチメートル以下	480 グラム以上	26 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上

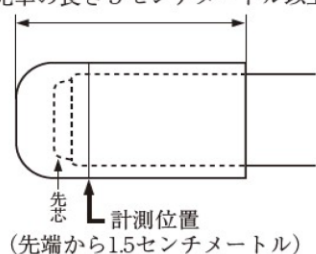
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長 さ (全 長)	重 さ	太 さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大 刀	114 センチメートル以下	440 グラム以上	25 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上
小 刀	62 センチメートル以下	280～300 グラム	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上

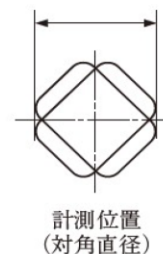
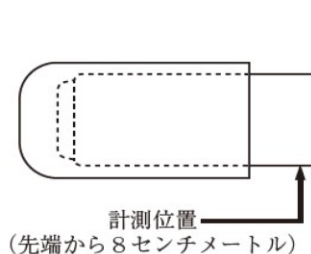
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



## 8 参 加 料

1, 5 0 0 円

## 9 申 込 方 法

出場希望者は、所定の申込書に記入し、参加料を添えて加盟団体事務局へ申し込むこと。加盟団体事務局は出場者を取りまとめのうえ、県剣連事務局へ提出すること。

申込締切日 加盟団体事務局 令和8年2月13日（金）

申込締切日 熊本県剣道連盟 令和8年2月17日（火）

## 10 安全管理

出場者は、各自十分健康管理に留意して予選会に出場すること。

出場者は、大会での使用用具を事前に確認し、別紙「剣道用具確認証」を、竹刀計量・検査時に提出すること。

出場者には主催者側で1日スポーツ傷害保険に加入するが、傷害等発生の場合は当連盟が加入している範囲内で対応する。

## 11 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（称号・段位、漢字氏名、カナ氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等）は、熊本県剣道連盟が実施する本予選会運営のために利用する。なお、氏名、年齢、所属等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ等）に公表することがある。更に剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

## 12 注意事項

- (1) 所定の申込用紙を使用すること。
- (2) 申込期限、受付時間は厳守すること。受付時間が過ぎたら棄権したものとみなす。
- (3) 選手は予選会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。
- (4) 選手は、全日本剣道連盟「感染症予防ガイドライン」（全剣連ガイドライン）に従う。面をつけて剣道を行う際には、飛沫防止等 のため、口の部分を覆うシールドもしくは、面マスクを着用する
- (5) 剣道場内での写真及び動画の撮影は、係員以外は禁止する。
- (6) 応援者の入館は認めるが、検温、手指の消毒は必ず行うこと。
- (7) 感染状況により、中止する場合もある。